

「課題名：ビグアイド系糖尿病薬・SGLT2 阻害薬の術前休薬における薬剤師介入の効果」について

○ 研究の意義・目的

周術期は急性合併症のリスクを回避するため、ビグアイド系糖尿病薬および SGLT2 (Sodium-glucose Cotransporter-2) 阻害薬は休薬する必要がありますが、休薬期間が不十分となる症例は少なくありません。休薬期間不足例の要因を調査し、より確実に周術期のビグアイド系糖尿病薬・SGLT2 阻害薬の休薬を遵守できる仕組みを構築するため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2021 年 1 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までに、広島大学病院消化器外科、心臓血管外科および呼吸器外科で全身麻酔による手術を実施した患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、身長、体重、肥満指数、血糖値、グリコヘモグロビン、血清クレアチニン、使用薬剤名、投与量、薬剤師による入院前支援の有無、入院から手術までの期間、絶食期間、休薬期間、休薬期間中の血糖値、副作用です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2024 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 高城 冴花（担当者）